



3

孔8を有するカム形状の基底金具、9は先端に基底金具7が挿入される切溝10を有し、中央部に溝11を有する台金具、12は基底金具7を台金具9に嵌着するために台金具9の先端に形成した取付孔13及び上記基底金具7の取付孔8に挿入された駆軸、14は台金具9の末端部が出入自在に挿入される凹部15を有するガイド金具、16は、末端部がガイド金具14の外周に嵌合固定された筒状のガイドパイプ、17はガイドパイプ16の先端部に形成された内筒に突出する肩部18と上記台金具9に形成した溝11との間に設けられ上記台金具9を常にガイド金具14側に押圧するスプリング、19は台金具9の中心孔20に挿入され先端が常時基底金具7の外周に当接しているシャフト、21はガイド金具14の末端部に形成された取付用の螺子孔である。

上記実施例において台金具9は末端部がガイド金具14の凹部15に出入自在に挿入されており、ガイドパイプ16とガイド金具14によって軸方向に滑動自在に支持されている。そして、台金具

5

収納するようにすることも可能であり、この場合にはアンテナ本体6の不使用时にアンテナ本体6がキャビネット22より突出する量が著しく少なくなり実用上きわめて有利なものである。

以上、実施例より明らかなように、本発明のロードアンテナはアンテナ本体を嵌着する台金具に対して出入自在に取付け、アンテナ本体を台金具に対してほぼ直交する方向に倒した状態では台金具がガイド金具内側に充分に挿入されアンテナ本体を台金具に対して同方向になるように立てたときにはアンテナ本体の基底金具に形成したカム面の働きによって台金具自体がガイド金具より突出する方向に移行されるように構成したものであり、アンテナ本体をキャビネットに対して相当接近するように取付けたとしてもアンテナ本体の突出量は少なく、キャビネットの開口部からアンテナ本体の先端が突出する量が少なくなる。

以上、実施例より明らかなように、本発明のロードアンテナはアンテナ本体を嵌着する台金具に対して出入自在に取付け、アンテナ本体を台金具に対してほぼ直交する方向に倒した状態では台金具がガイド金具内側に充分に挿入されアンテナ本体を台金具に対して同方向になるように立てたときにはアンテナ本体の基底金具に形成したカム面の働きによって台金具自体がガイド金具より突出する方向に移行されるように構成したものであり、アンテナ本体をキャビネットに対して相当接近するように取付けたとしてもアンテナ本体の突出量は少なく、キャビネットの開口部からアンテナ本体の先端が突出する量が少なくなる。

4、上面の簡単な説明

特開昭55-147806(2)

9は常時スプリング17によってガイドパイプ16に対して直交する方向に倒している状態では、第3図、第4図に示すようにガイドパイプ16の先端より突出する部分が少なくなっている。

今、アンテナ本体6を駆軸12を中心に第3図矢出の方向に倒したとすると基底金具7のカム面がシャフト19の先端に当接するようになるため、第6図に示すように台金具19がスプリング17の力に対してガイドパイプ16より突出する方向に移行されガイドパイプ16より突出する部分が大きくなる。

したがって、上記実施例のロードアンテナによれば、第7図に示すようにアンテナ本体6を相当キャビネット22に近接するように取付けたとしてもその使用時には第9図に示すように台金具9が相当突出するため、アンテナ本体6の操作自体には何ら支障がなくきわめて有効なものである。特に、上記実施例によれば第7図、第8図に示すようにキャビネット22にアンテナ本体6を収納する凹部23を形成し、ここにアンテナ本体6を

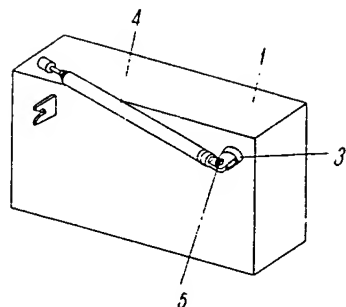
6

第1図は従来のロードアンテナを備えた無線機器の斜視図、第2図は同機器の一部切欠側面図、第3図は本発明のロードアンテナの斜視図、第4図は同A-A'断面図、第5図は同アンテナの分解斜視図、第6図は同アンテナの動作説明図、第7図～第9図は同アンテナを無線機器のキャビネットに取付けた状態の説明図である。

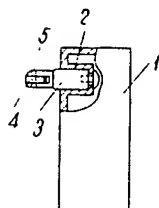
6……アンテナ本体、7……基底金具、8……取付孔、9……台金具、10……切溝、11……溝、12……駆軸、13……取付孔、14……ガイド金具、15……凹部、16……ガイドパイプ、17……スプリング、18……肩部、19……シャフト、20……中心孔、21……螺子孔、22……キャビネット、23……凹部

代理人の氏名 井理士 中 尾 郎 男 はか1名

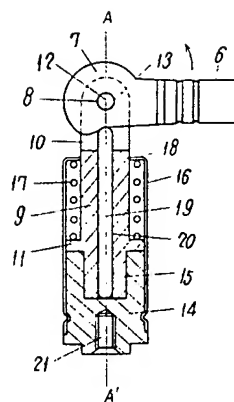
第 1 圖



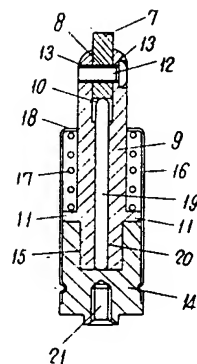
第 2 回



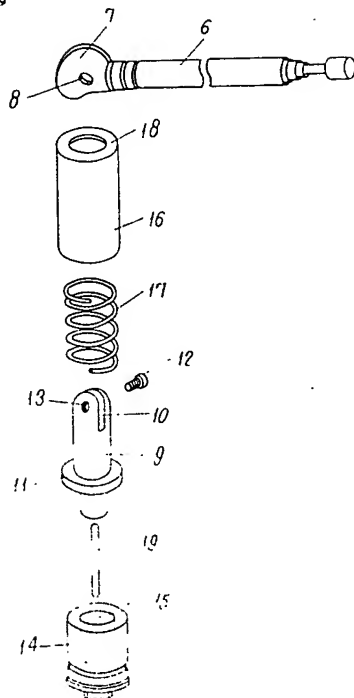
第 3 章



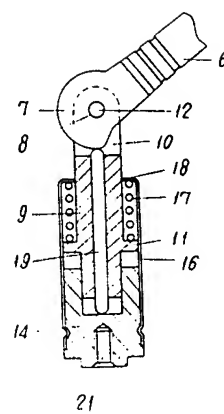
第 4 図



第 5 章

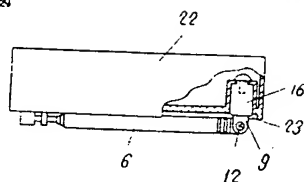


第 6 题

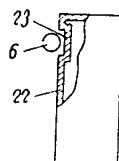


第 7 圖

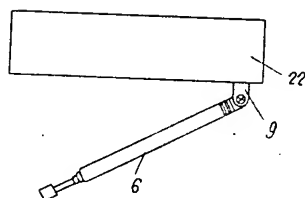
特開昭55-147806(4)



第 8 圖



第 9 圖

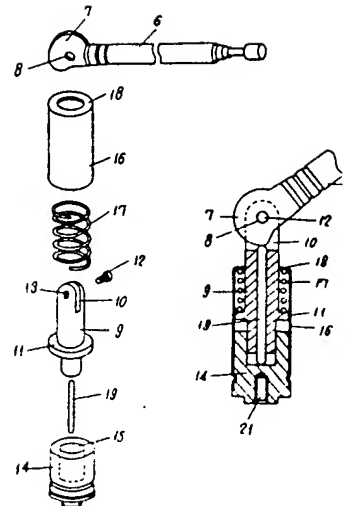


BEST AVAILABLE COPY

**(54) ROD ANTENNA****(11) 55-147806 (A)****(43) 18.11.1980 (19) JP****(21) Appl. No. 54-55621****(22) 7.5.1979****(71) MATSUSHITA DENKI SANGYO K.K. (72) KATSUROU OUCHI****(51) Int. Cl. H01Q1/12**

**PURPOSE:** To eliminate hindrance of the operation itself of an antenna main body by constituting the stand metallic jig, which fixed the antenna main body pivotally, so that this jig can expand and contract in relation to the turning operation of the antenna main body.

**CONSTITUTION:** Stand metallic jig 9 has the terminal part inserted to concave part 15 of guide metallic jig 14 so that the terminal part above can be fitted to and removed from part 15 freely, and metallic jig 9 is supported slidably in the axis direction by guide pipe 16 and metallic jig 14. When metallic jig 9 falls to a direction orthogonal to pipe 16 by spring 17, the protrusion part of metallic jig 9 is a little. When antenna main body 6 is turned in the arrow direction with pivot 12 as the center, the cam face of base metallic jig 7 is brought into contact with the tip of shaft 19, and metallic jig 9 is transferred to the direction, where metallic jig 9 is protruded from pipe 16, against force of spring 17, and thus, the protrusion part of metallic jig 9 becomes large.



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**